

## 平成25年度通常総会

第20回通常総会を下記の通り開催し、会員の皆様にはご多忙中にも拘わらず多数ご出席を賜り、お蔭で、無事終了しましたことをご報告いたします。

1. 日時 平成25年6月25日(火) 15:00~15:55
2. 場所 ホテル セントヒル長崎 3F「紫陽花」
3. 正会員 総数 68名
4. 出席者 62名(出席者 35名+委任状 27名)

**第1号議案** 議事録署名人の選任: 中野一英理事・酒井良文監事を選任

**第2号議案** 平成24年度活動報告並びに決算・監査報告 承認の件満場一致で、承認。

## 平成24年度 活動報告

平成24年度の我が国経済は、東日本大震災からの復興需要や政策効果の発現等により、夏場にかけて回復に向けた動きが見られました。



平 会長

当協会におきましては新法人として自主運営の最初の年度でもありました。例年実施しています研修事業におきましては210名の目標に対して217名の受講を達成することができました。ここにあらためてお礼申し上げます。

活動内容につきましては次のとおりです。

- (1) 地元企業間連携による国家プロジェクトの推進  
テーマ: 電力需要抑制のモデル化と高自給率コミュニティの計画・運用体系化に関する実証事業計画  
期間: H23年度~H25年度の3年間、本事業には地元からはNISA会員5社が参画しており、その内2社によるパッケージ化までできています。
- (2) 長崎EV&ITSコンソーシアム(長崎エビッツ)  
五島におけるEV車のプロジェクトで未来型ドライブ観光システムの構築やエネルギーシステムとEVに係るモデル実証等の実施を目的としていますがNISA会員も①急速充電ネットワークシステムの開発②観光情報プラットフォームシステムの開発③災害に強いグリーンパワー複合型グリッドシステムの構築といった結果を出しています。
- (3) 東長崎エコタウン  
東長崎地区で行う「次世代エネルギーの地産地消」、「環境に優しく安全・安心なまちづくり」に関する

調査・研究・実証試験の支援を目的とした動であり地元自治体が積極的に参加していることが特徴です。

- (4) 長崎県IT融合化推進協議会(ES-Nagasaki) IT融合化講演会として医療・福祉、ビッグデータの活用等をテーマに講演会等を実施した。
- (5) 長崎県ICT化推進連絡会議  
ICTユーザー・団体、ICT企業・団体、官公庁、金融機関が一体となり交流し変革を推進することで各々の競争力を高め地場企業の発展に貢献することを目的に設立した。
- (6) 幕張メッセで開催されたシーテックジャパン2012「長崎県」ブースに会員企業が出展した。
- (7) ANIA 通常総会及び関連事業に参加した。
- (8) JISA九州・沖縄支部会に参加した。
- (9) NISA 通常総会、講演会、交流会を実施した。  
この折に会員向けに「我が社の一押し」として会社や製品紹介を紹介する機会を設けると共に「ビジネスコラボ」を開催し懇親会を通じて会員相互の理解を深めた。
- (10) 研修事業は、受講者目標210名に対し217名を達成することができた。

**第3号議案** 理事選任、承認の件

新任理事候補者 (株)エル・エス・アイ 岡 万里子氏を満場一致で承認。

**第4号議案** その他の案件 特になし

## 平成25年度 活動方針

【基本方針】

政権交代後、日本経済再生に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」により、長引く円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指す経済政策が進行しています。この経済対策の期待感から一時的に株高傾向・円安が急速に進行しましたが、最近では乱高下しています。傾向としては、経済対策が本格化することにより経営環境の改善も進み、長年続いたデフレ脱却に期待がされています。本県では、県・市庁舎建設の具体化、長崎が世界新三大夜景に認定されるなど明るい話題もあります。また、景況感は横ばい基調ながら先行きの持ち直しの動きがあるとの、調査結果も出ておりま

す。このような中、昨年度4月に「一般社団法人」化し、本年度もその趣旨に従い自主運営・管理の下、非営利法人として会員や県内事業者の皆様のお役にたてることを第一に、先進的なテーマへの取り組みを交えながら運営していきます。

## 「我が社の一押し」

### ■株式会社アドミン



井手・河野・川上 氏

井手氏、河野氏・川上氏より会社紹介がありました。強みは iOS・Android、タブレット、Web 向けの開発であり「レスポンス Web デザイン」、「Ajax」、「サーバ

サイドプログラミング」について説明があった。また、長崎の IT 産業をより活性化させるために長崎の学生を対象に「長崎デジタルコンテスト」を開催して技術者の育成を行う事業の紹介があった。

### ■株式会社 NDKCOM



尾崎 氏

尾崎氏より「次世代エネルギー社会システム実証補間プロジェクト」におけるP

C節電制御アプリケーションについて、H23 年度の初年度オブザーバー参加と実証事業、H25 年度の予定が紹介された。実証場所はハウステンボスのオフィスであり利用状況の聞き取り調査から始まってアプリ開発、社内での試験運用を行い、消費電力、削減電力の数値的評価を行い、今後はパッケージ化の計画もあるということでした。

## 「講演会」



黒石 氏

(株)MHI コントロールシステムズ 取締役 黒石様より「地球の歴史から ICT 社会を考える ～歴史を学べば、未来は見えてくる～」という演題でお話をしていた

いただきました。化石燃料、原子力、自然エネルギーの残存年数や過去からの地図を見ながら国毎に違う自然エネルギー利用環境。複数のエネルギーが混在した場合の系統制御の仕組み。最近アメリカで見つかったシェールガスによる各国間商取引・エネルギーの流れに変化について。発電所の場所については、歴史

を学ばなければ安全な場所であるかどうか分からない等幅広い見地から多くの話をさせていただきました。また、話の終わりには ICT を活用したエネルギーの効率的な運用について NISA が全国に先駆けて取り組んでくださいと、激励もいただきました。



## 「交流会」



県産業技術課 門司課長補佐



市商工部 尾上理事



交流会を開催しましたころ、ご多忙中にも拘わらず長崎県産業労働部 産業技術課、長崎市経済局 商工部産業雇用政策課の方々にもご参加して頂きました。今回就任が承認されました岡 新理事、我が社の一押しを発表いただいた NISA 会員の(株)アドミン、(株)NDKCOM、初参加の会員の皆様、新会員の皆様にもご登壇いただき挨拶をしていただく等、相互交流を通して地域発展につながるような交流・懇親の場を持つことができました。多数のご参加ありがとうございました。

発行元：一般社団法人 長崎県情報産業協会  
〒850-0032 長崎市興善町 4-6-701  
電話：095-824-0332

発行責任者：会長 平 敏孝  
発行日：平成 25 年9月27日 第1版

(文責：総務広報委員会 梁瀬理事)